

シンビオ社会研究会員各位

平成25年12月16日

シンビオ社会研究会

会長 吉川 榮和

平成25年度第2回シンビオ研究談話会を下記のとおりご案内させていただきます。

是非ご出席をお願いいたします。

研究談話会に先立ち、第4回シンビオ理事会を予定しますが、その詳細は追って理事の方々にご連絡いたします。なお、今回は研究談話会後の懇親会は予定していません。

記

平成25年度第2回シンビオ研究談話会

「ICTを利用したエネルギー・環境配慮行動の促進」

開催案内

趣旨：科学技術の発展に伴い、我々は快適で豊かな生活を享受できるようになってきた。しかし、わが国の家庭における一人あたりのエネルギー消費は、1970年に比べて2倍にもなっている。また、東日本大震災以降、わが国のほとんどの原子力発電所は停止しており、電力需給の不安があるばかりでなく、その代替電源として用いられている火力発電所からの二酸化炭素排出量が増加しており、より一層の省エネルギー行動や環境配慮行動が求められている。

今回の研究談話会では、情報通信技術（ICT）を用いて、人々のエネルギー・環境配慮行動を促進する手法に関する2つの研究を紹介する。

（オーガナイザ：下田宏氏）

日時：2014年1月24日（金）15：00～17：30

場所：（公財）応用科学研究所3号館2階会議室

アクセスは右 URL 参照 (<http://sym-bio.jpn.org/thing.php>)

***** プログラム *****

15:00-16:15 講演1：「省エネ行動支援に向けたインタフェースの研究」

講演者：大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻特任助教 伊藤京子氏

概要：

省エネ行動支援に向けて、インタフェースの設計・開発の研究が進められている。人々の省エネ意識がどのようなものであるか、省エネ行動をどのように支援できるか、どうすればモチベーショ

ンの向上につながるか、などアプローチは多様である。本講演では、省エネ行動支援に関連するインタフェース研究を概観した後、講演者らが進めてきた省エネ行動支援に向けた研究を紹介する。

16:15-16:20 休憩

16:20-17:35 講演 2 : 「承諾誘導理論を用いた環境配慮行動促進のためのオンラインコミュニティの活性化」

講演者 : 京都大学大学院エネルギー科学研究科後期博士課程 北村尊義氏

環境をテーマとしたオンラインコミュニティは、主に地方自治体等によって数多く運営されてきたが、そのほとんどは活性化せずに廃れてしまっている。本研究では、人々の行動を変える承諾誘導理論を用いて環境をテーマとしたオンラインコミュニティを活性化させ、さらには環境配慮行動も促進する手法について紹介する。

なお、研究談話会ではディスカッションを活発に行うことを主眼としていますので、その旨ご承知下さい。

問合せ・参加申し込み先 :

シンビオ社会研究会 事務局 内田 メールアドレス symbio-office@nike.eonet.ne.jp

参加申し込みは、平成26年1月10日 までにメールをお願いします。

談話会参加費 : 無料